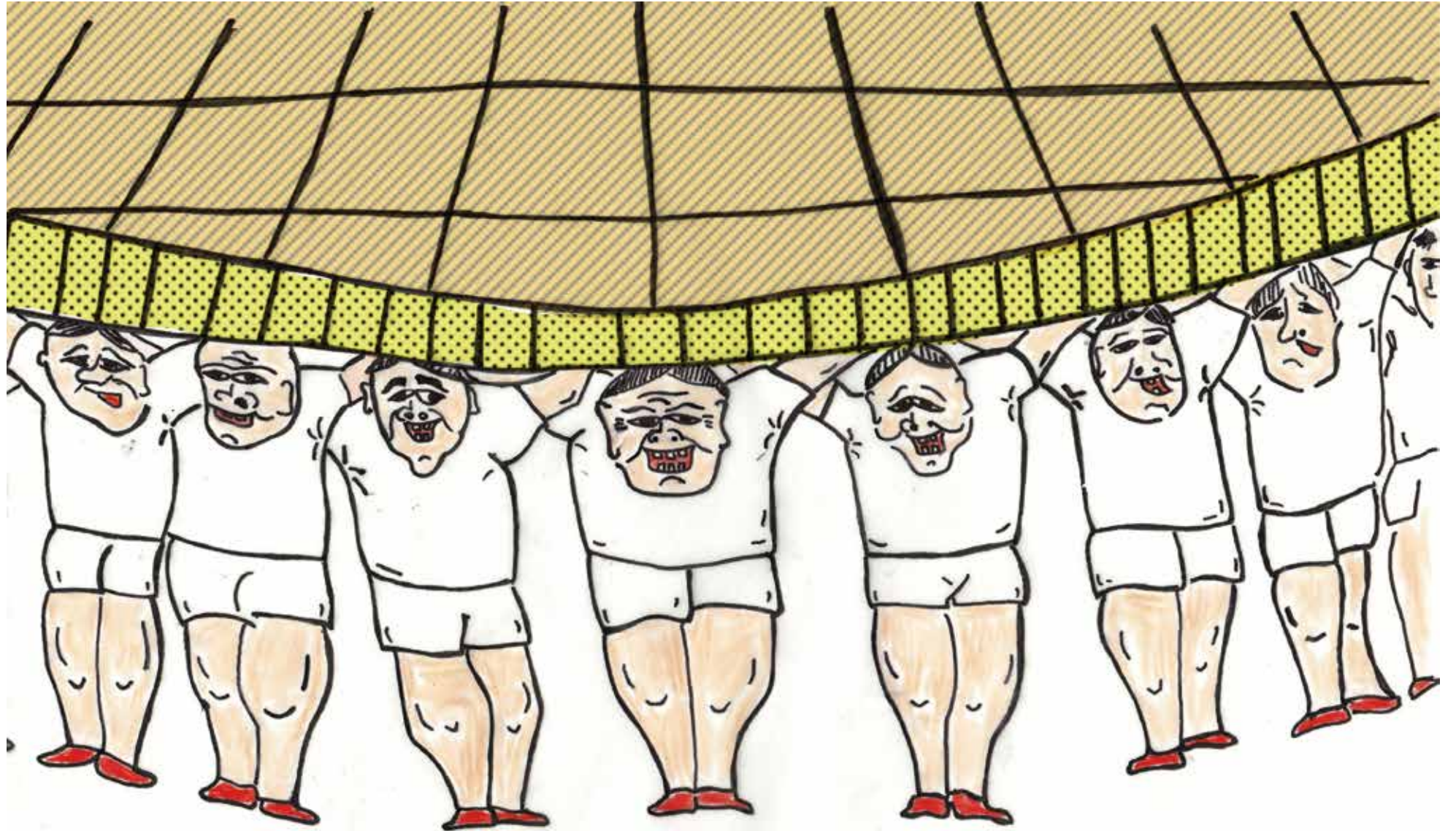


4.22sun 人間が構造になる舞台 THE HUMAN STRUCTURE STAGE



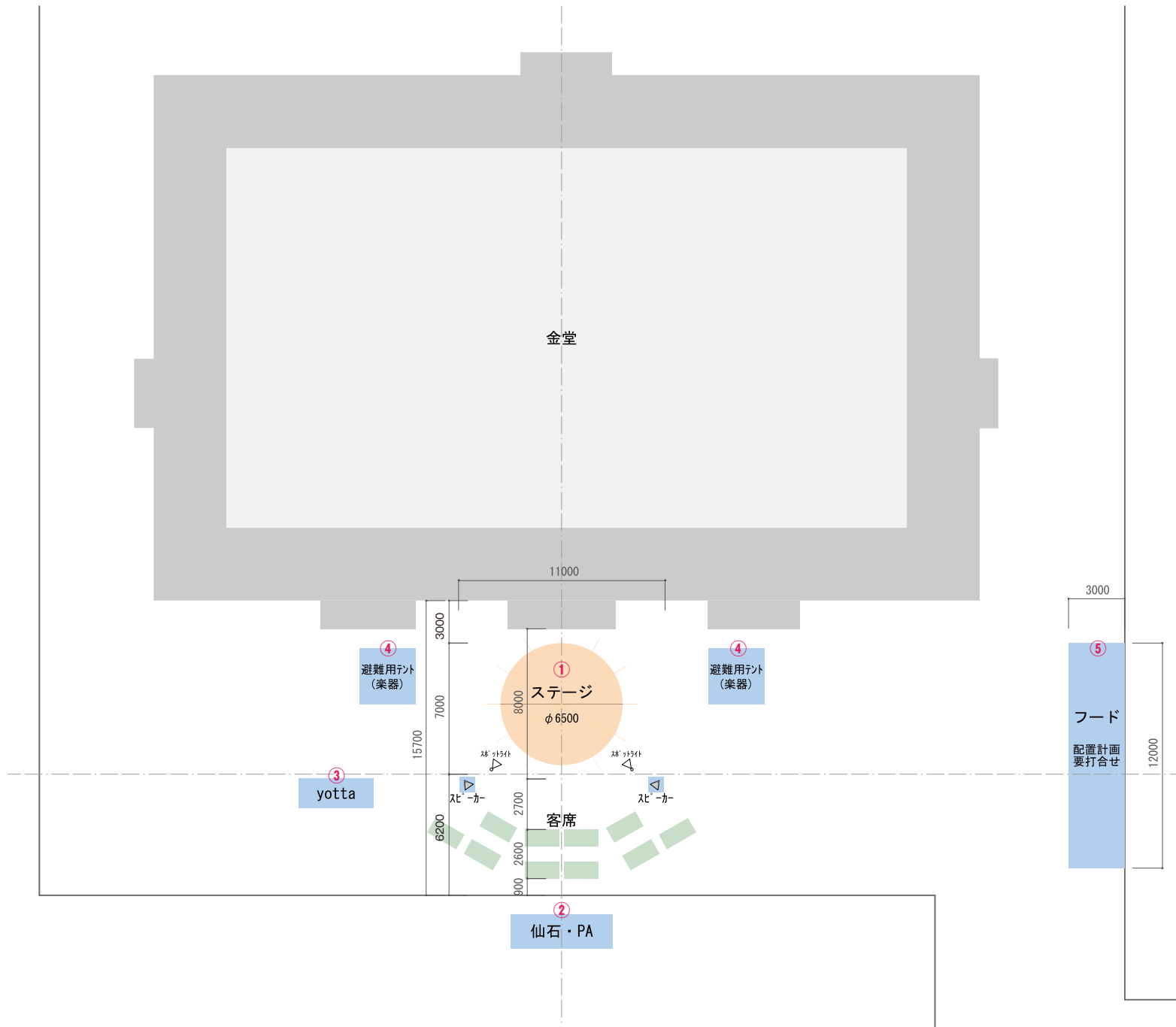


Nehan Lab. 2018
ステージ制作資料

- 会場配置計画
- メインステージ・コンセプト案①
- メインステージ・コンセプト案②
- 参考イメージ
- メインステージ・設計案
- 安全への措置
- 制作スケジュール

企画／制作
前田文化

配置計画図



① メインステージ (制作：前田文化)



- 演奏者 2 組 (和田永 / OOIIOO) が使用
- 小雨程度の雨から楽器を守る屋根構造

② OHP 投射台+PA ブース (レンタル)



- 作家 (仙石彬人) が使用 (2 階部分)
- 高台から客席 (地面) に向けて OHP を投射
- PA ブース兼用 (1 階部分)

③ Yotta 穀 (持ち込み)



- 公演開始時 / 舞台転換時等に稼働 (予定)
- 雨よけテント持ち込み

④ 避難用テント (レンタル-2 台)

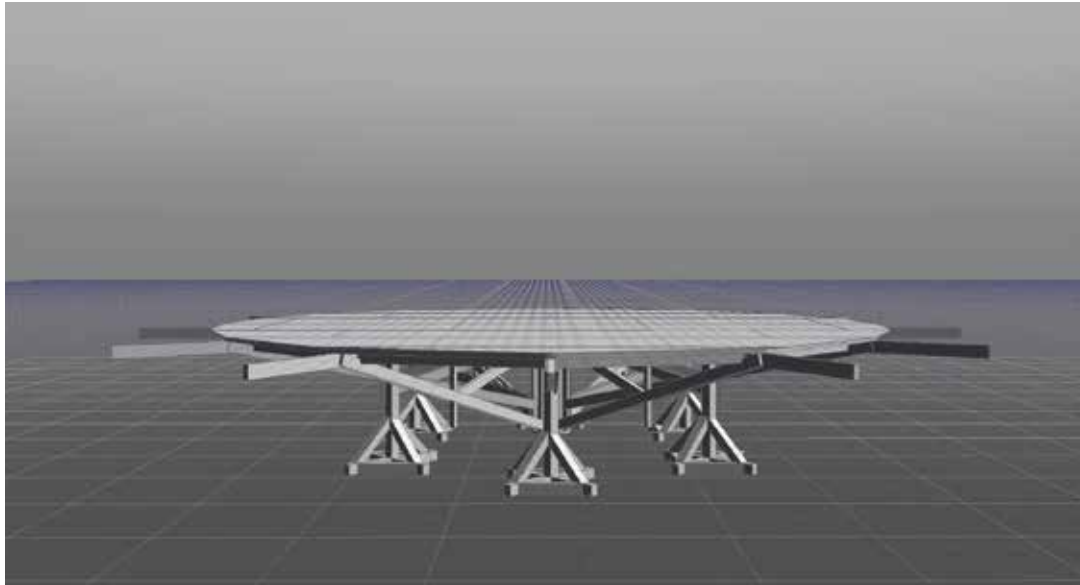
- 大雨時に楽器や機材を避難させる

⑤ フードテント (レンタル-2 台)

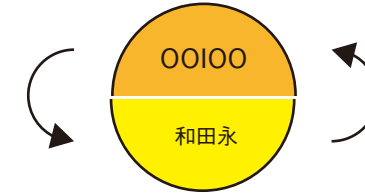
メインステージ・コンセプト案①

人間が構造の一部となる回転ステージ

□ ステージに必要な機能（構造／装飾／転換）を人間 50 名が担う



金堂



回転（転換）するステージ

□ 2組の演奏者が使用する楽器・機材をすべて配置した状態での舞台転換を回転によって実現させる



演奏者



楽器

アンプ

モニタスピーカー

ステージ（床材）



事前制作（前田文化）

人間（構造の一部）



50名程度

（ボランティア募集）

メインステージ・コンセプト案②

条件①

異なる楽器を使う 2 組の演奏者

- 使用楽器は据え置き（移動させない）
- 二組とも金堂の中央で演奏させる

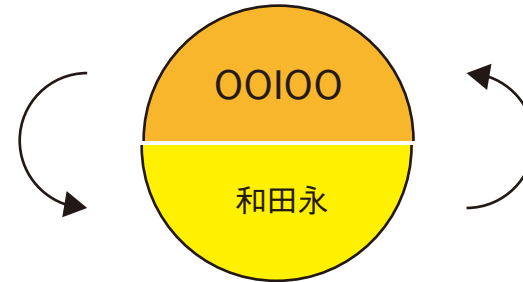


和田永 + Nicos Orchest-Lab



00100

- 演奏者：4 名
- 使用楽器：ギター ×2、ベース、ドラム



- 演奏者：4 名～
- 使用楽器：オリジナル楽器複数（ブラウン管等）

条件②

当日設営／当日撤去／低予算

設営時間の短縮

- 事前に用意した最低限のステージ設備のみを利用して時間内に設営する

資材の省略

- 限られた予算内で「ステージ」を構成する



- 資材を一切使わない構造の例



ステージの強度・水平・転換を「人間」が作る

コンセプトの参考となるイメージ



回転の動力を人力で行う例（インドの観覧車）



複数の人間が装飾や造形を担っている例



たくさんの人間が集まってインパクトを作る例

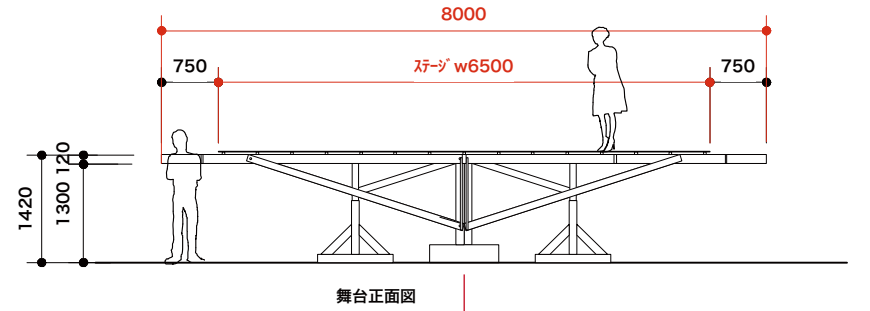
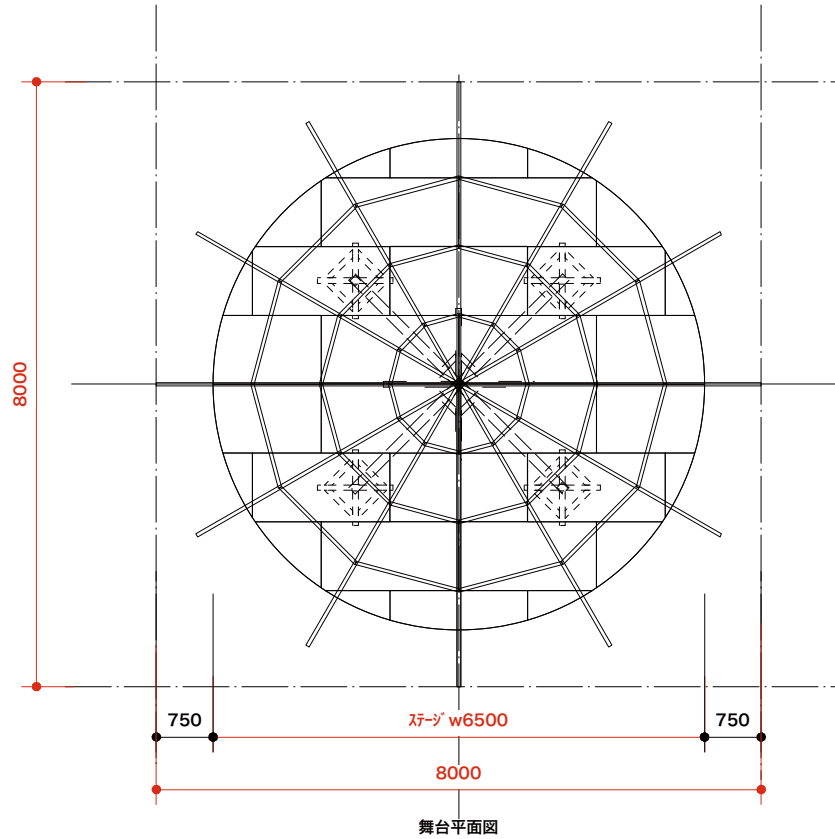


回転する舞台の構造



歴史からの、舞台（土台）デザインの参考事例

メインステージ・設計案



中心の軸と土台が分離
されており、回転を可能とする

ステージ制作で使用する素材

構造用合板 (12m / 24m)

角材 (35×35×3000 / 45×105×4000 / 27×90×3000 / 45×45×3000)

ビス・金物

工事名称 : Nehan Lab
所在地 : 京都府京都市南区九条町 1
図面名称 : 舞台姿図

縮尺 : 1/60
用紙 : A4
日付 : 2018/03/18

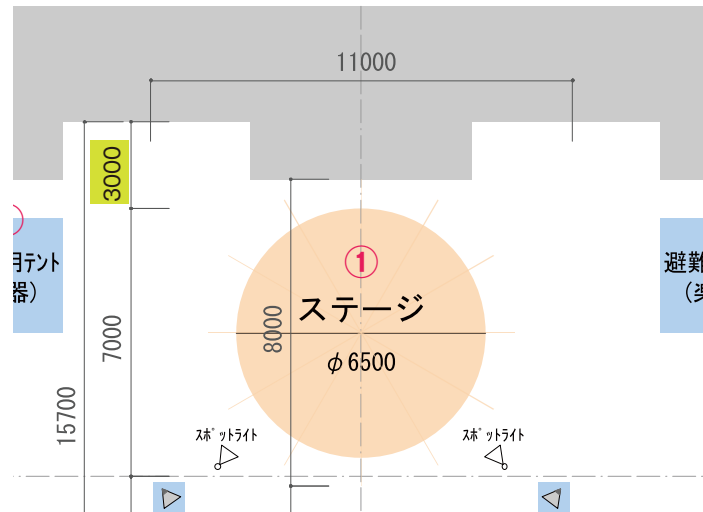
図面NO. :

安全への措置

考慮すること：出演者・スタッフ・鑑賞者に対するの安全／金堂への安全

①金堂石段とステージは干渉しない

→メインステージの端は石段の階段から3m離して設置し、演奏時や転換時にステージが石段や階段部分に接触しない十分なスペースを確保する。



③その他の安全対策

- 設営日までにステージの組み立てや、回転のテストを実施し、構造に不備が無いか徹底する
- ステージを人間が保持する際および転換時の動きに関しては、本番までに十分なテスト時間を設け、演奏時の安定と転換時の安全に努める。

②演奏者の安全性

→中心軸に加え、4台の置き台により人間が支えなくても自立する構造となっているのでステージが横転する危険性は無い

